

(静岡県森町の事例)

委員会のゴールである利活用方針案策定に向け、盛り込む4つの視点(①目的・②実施主体・③範囲・④実現手法)のイメージを色分けいたしました。
検討委員会を通して、基本的な方針の整理を進めてまいります。

【イメージ】

小中学校跡地利活用方針

令和4年9月1日

1 趣旨

令和2年4月及び令和3年4月の町内中学校、小学校の統合に伴い、空き校舎となった3つの小中学校施設及び跡地の利活用方法を検討するため「小中学校跡地利活用検討委員会」を立ち上げ、地域と立地の現況に相応しい利活用の方向性をとりまとめました。町として小中学校跡地施設等の利活用について円滑な事務手続を進めるための方針を定めます。

2 対象施設

本方針では、下記の学校施設等を対象とします。

- (1) 中学校跡地 校舎、体育館、グラウンド及びプール
- (2) 小学校跡地 校舎、体育館、グラウンド及びプール
- (3) 小学校跡地 校舎、体育館、グラウンド及びプール

3 基本的な方針

実施主体

範囲

目的

実現手法

基本的な方針は以下のとおりですが、民間からの利活用提案がより地域の活性化に資すると見込まれる場合は、柔軟に対応することとします。

① 中学校跡地

- ・民間による利活用を基本として、校舎、体育館、グラウンド及びプールを一括して活用できるところに売却・貸付を優先します。
- ・教育の振興、福祉の向上、産業振興に資する利活用を目的とします。

② 小学校跡地

- ・民間による利活用を基本として、校舎、体育館、グラウンド及びプールを一括して活用できるところに売却・貸付を優先します。
- ・観光振興(特にアウトドア)に資する利活用を目的とします。

③ 小学校跡地

- ・行政と民間による利活用を基本として、校舎、体育館、グラウンド及びプールを目的に応じて売却・貸付をします。
- ・行政では地域の複合施設として共同利用し、残った部分は、民間による産業振興、移住定住に資する利活用を目的とします。